

社会教育活動などに功績 野田さんが文部科学大臣賞を受賞

山田町婦人団体協議会前会長の野田和子さん（大浦・78）が社会教育功労の分野で文部科学大臣賞を受賞しました。同会長や岩手県地域婦人団体協議会副会長などを11年務めた野田さん。女性が主体となつた地域の社会教育活動の推進や災害時の避難所支援活動、子どもたちの防災意識向上のため、震災伝承への取り組みなど、長きにわたる功績が認められたものです。

町内の児童と調理実習を行い、教育活動に



野田和子さん
（大浦・78）

取り組むほか、震災時には、婦人団体を中心となり、炊き出しなどの支援に尽力されました。また、震災後には、当時、経験した記憶と教訓を全国各地で講演するなど、防災教育や震災伝承活動にも貢献されています。

表彰を受け野田さんは「これまで活動を支えてくださった皆様のおかげで、受賞することができました。今後皆様のお役に立てるよう努めてまいります」と思いを話してくれました。

第44回県アンサンブルコンテスト

山田中吹奏楽部7人の活躍光る



打楽器三重奏・左から伊山瞳さん（1年）、佐藤希美さん（2年）、佐々木理沙さん（1年）



サクソフォーン四重奏・左から藤原月詩さん（2年）、飯野希海さん（同）、佐藤澤妃那さん（1年）、斎藤魁さん（同）

1月13日に奥州市で行われた、「第44回岩手県アンサンブルコンテスト」中学生の部で、山田中学校（八幡一校校長・生徒297人）の吹奏楽部が打楽器三重奏で金賞、サクソフォーン四重奏で銀賞を獲得し、その活躍ぶりが光りました。

見事、打楽器三重奏で金賞を獲得した佐藤希美さんは「金賞を取れると思っていなかったの、素直にうれしいです。次の大会では部員全員で出場するので、チーム一つになって、息のあった演奏ができるように頑張ります」と意気込みを語りました。

町長室から

この度、山田八幡宮と大杉神社のお祭りが県の無形文化財に指定される見通しだという。町としても大変喜ばしいことと思う。今から20数年前、お祭り広場開設のため、私も商工会専務として深く携わった。当時、町外から多くの人が訪れ、山田のお祭りを見て感動の声を上げた。もっと多くの人に見ていただきたいと思い、警察や関係各位のご理解のもと国道を全面通行止めとした。国道の両側には黒山の垣がで、見渡す限りお祭り一色の光景が今も忘れられない。しかし、13年前の津波で山田町の景色も一変した。祭りの火が消えそつになるも、神社関係者のたゆまぬ努力で、しっかりと守られ受け継がれてきた。先人からの伝統あるお祭りを絶やしてはならないという強い信念が、今回の評価につながったのだと思う。今年のお祭りは、より一層盛り上がりたてくれるものと思う。

山田町長 佐藤 信逸